

「新型コロナウイルス」感染症のまん延に対する対策

新型コロナウイルスによる感染症の拡大と重篤な症例が報告されるに至り、厚生労働省の専門家会議から具体的な見解が示されました。感染が拡大する時期にあつて、国の専門家会議は、今後、1～2週間が感染拡大のスピードを抑えられるかどうかの瀬戸際だという見解を示し、大人数が集まり濃厚な接触の可能性のある集会などの自粛が求められています。

そこで、考えられる様々なリスクを避けるため、当教会でも、当面（3/1～3/31）、次のように具体的な対応をここに決めましたので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 3/1の聖餐式の執行は中止します。
2. その他、公開の場での聖礼典執行（聖餐式 洗礼式）は行ないません。
3. 主日礼拝は、当面、簡略化した式次第で行います。
4. 教会学校については、当面、行ないません。
5. 聖書・讃美歌の貸し出しは休止し、代わりに印刷したものを準備します。
6. ドアノブ、手すり、ベンチ、備品等の消毒清掃を行います。
7. その他、礼拝以外の集会は、当面休止とします。ただし、葬儀については、充分に対策を講じた上、行います。
8. 事態の推移によっては、礼拝における讃美、唱和の休止、また、礼拝の開催そのものの休止の可能性をも考慮します。
9. 引き続き、以下の注意喚起に留意してください。
 - 1) 体調がすぐれないとき、不安を覚えるときは、無理に主日礼拝に出席をせずに、自宅で、日課に基づき聖書を朗読し、祈りの時を持つようにしてください。
聖書箇所については教会ホームページを参照ください。
 - 2) 礼拝中はマスク着用のみでかまいません。また、入手可能な方は、できる限りマスクをご着用ください。

- 3) 礼拝堂に入るときには、受付にある手指消毒用のアルコールをご利用ください。
- 4) トイレ使用後には、石鹸にて手洗いを必ず行ってください。
- 5) もし発症が確認された場合には、教会までご一報ください。

主イエスと共に生きる私たちは「祈りの力」を信じています。それゆえ、いかなる事態に見舞われようとも、神様とイエス様に祈ることを止めません。ノアの信仰を通し、世界が守られたように、私たち一人ひとりの祈りと、祈りに押し出される私たちの振る舞いこそが、世界を支えていると信じるからです。

しかし、この度の聖餐式中止の決定までのプロセスは、「私の記念としてこれを行え」と命じた主イエスの言葉を思い起こせばこそ、忸怩たる思いを抱くものでもありました。霊的な敗北に加えて、信仰の弱体化をもたらすかのように思えたからです。けれども、困難な現実と向き合う私たちが、いかなる局面においても先ず求められることは、共に祈りを集めることです。それぞれの心の内にある思いをすべて主イエスに集め、主にある兄弟姉妹と共に祈りに合わせることを私たちに最も求められていることでもあるのです。そして、このことを知らされたのが、この度の聖餐式中止の決断においてでありました。

この度の決断は、主と主にある兄弟姉妹を思い浮かべ、祈りの内に導かれた結論でもあります。それゆえ、そこに主の御心が置かれていたのは間違いありません。従って、この決断を御心と信じ、私たちが共に祈り歩み続けるなら、私たちは御心によって支えられ、かつ整えられ、返って、その信仰の力を強めることになるのです。それゆえ、この度の出来事は、祈りの力と、祈りに押し出され歩む私たちの道のりの確かさとを、主にあって共に知らされる機会であることを心に留めたいと思います。

そして、それは、私たちが「地の塩、世の光」、「よきサマリア人」として、この地に生き、これまでと変わらずに歩み続けるということです。主が共にいます希望を見つめ、寛容さを見失わず、感染した方々の回復と事態の收拾、さらに、この度の出来事により様々な困難に直面する人々を覚え、神様とイエス様に共に祈りを集めて参りましょう。

2020年3月1日（起 案）

3月8日（見直し）

日本基督教団藤沢教会

牧師 黒田直人

藤沢教会役員会